

第39号

○発行日：令和5年1月10日(火)
○発行：東京都合気道連盟
〒162-0056
東京都新宿区若松町17番18号
(公財)合気会内
電話：03-6457-3315
FAX：03-6457-3317
e-mail：info@tokyo-aikido.com
https://www.tokyo-aikido.com/
発行人：藤城 清次郎
編集責任者：美濃部 智子

合気道

道主植芝守央

東京都合気道連盟広報



祈 演武大会開催！

平成30年度演武大会開会式

理事長挨拶……………2頁
第10回全国合気道指導者研修会報告……………2頁
令和4年度日本武道協議会少年少女武道優良団体表彰…3頁
加盟団体紹介……………4～5頁
加盟団体今年の抱負……………6頁

年男・年女今年の抱負……………7頁
東京都合気道連盟役員選任要領の検討について…………8頁
令和四年度地域社会合気道指導者研修会のお知らせ…9頁
主要行事予定……………9頁
編集後記……………9頁

年頭のご挨拶



東京都合気道連盟

理事長 藤城清次郎

年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より植芝守央合気道道主はじめ、(公財)合気会、本部道場指導部、全日本合気道連盟、会員役員の皆様には当連盟の活動、ご指導、ご協力を賜り改めて厚く御礼を申し上げます。

多くの会員と共に新年を迎えることが出来ました。これも偏に植芝守央合気道道主はじめ東京都、(公財)東京都体育協会、東京武道館等多くの方々のご指導、ご助言、ご尽力あつてのことと深く感謝申し上げます。昨年コロナ感染に気を配りながらの一年でした。東京都合気道演武大会が中止の判断を余儀なくされました。しかし未だ完全にコロナ禍から解放されておりません。むしろコロナ第八波と季節性インフルエンザ同時流行が懸念されています。更に新たなBQ.1系統、XBB系統の変異株の置き換えも危惧されています。一日も早い収束を願うばかりです。

りですが、昨年開催を見送った演武大会を今年こそ開催し、状況に応じて積極的な活動を行いたいと思います。

さて、都連の理事会では「昨年の年頭のご挨拶にも「東京都合気道連盟の役員の選出」について触れさせて頂きました。昨年六月の第二三回理事会に於いて選任委員会設置の承認がなされ、翌七月には大橋健司理事が委員長として検討委員会を発足しました。評議員の皆様にご意見を募り、会議を重ねてきました。四月の評議員会には具体的な方向をご提示できる予定です。

さて、今年度も残すところ三ヶ月となりました。年度末迄には、主管行事として「月十二日(木)・三月九日(木)」には広域合同稽古、二月十一日(土)・東京武道館杯演武発表会、同じく三月四日(土)・五日(日)の二日間に亘り地域社会(足立区)合気道指導者研修会が開催されます。又、二月二十六日(日)には、都連主催事業の少年部指導法講習会も開催されます。是非ふるってご参加下さい。

本年も皆様と共に、合気道を通じ、心と身体の錬成と会員相互交流の場を多く提供していきたいと思っております。(公財)合気会、全日本合気道連盟、(公財)東京都体育協会、東京武道館とも緊密な連携をとりながら確り運営する所存です。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご発展を祈念いたし、合わせて本年も変わらぬご支援、ご指導、ご協力をお願い致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

第10回 全国合気道指導者研修会報告

第十回全国合気道指導者研修会《国庫補助事業》が令和四年十一月四日～六日に千葉県勝浦市日本武道館研修センターにおいて開催されました。この研修会は日本全国の中学、高等学校の保健体育科教員を対象に、学校教育における合気道の指導方法に関する実技及び講義が行われ、合気道指導の充実に資することを趣旨とし、同時に各都道府県合気道連盟関係者も参加し、今年のテーマ「女性指導者の普及について」意見交換をしました。人数制限の為、参加者数は都道府県連盟関係者二十三名、保健体育科教員四名でした。(都連から藤城理事長、木下副理事長が出席)

初日十一月四日十四時から開講式があり、植芝守央道主からご挨拶をいただきその後特別講師として植芝充央合気道本部道場長の講義と稽古があり、歴史、稽古法、技法の説明そして実際に技を行いながら講義がされました。続いて、金澤威本部道場指導部師範による実際の中学校授業の実技指導が行われ、都道府県連盟関係者は袴を取り、中



学生になり受講しました。



二日目九時から学校指導者と都道府県連盟関係者の二つに分かれ、中学高校教員は梅津翔先生の中学校合気道指導法①そして日野皓正先生による指導法②の実技指導がありました。また、都道府県連盟関係者は「女性指導者の普及

について」5グループに分かれ、活発に意見交換をいたしました。その後各グループの発表がありましたが、特に共通していたのが稽古を続ける環境の整備(出産後の復帰等)と、女性指導者の講習会についてでした。

午後は参加者全員が日本体育大学教授南部さおり先生による「武道指導とハラスメント」の講義、実例を含めハラスメントについて拝聴しました。

DVD「中学校武道必修化指導書」を視聴後、三人の保健体育教師による実技指導を受けましたが、合気道経験全く無しの先生方の工夫に感銘を受けました。

三日目は九時から講師(公財)合気会、林典夫常務理事司会進行のもと、二人の中学校体育教師から現状の報告があり、すべてのスケジュールを終了し閉講式が行われ、参加者全員に修了証授与があり、解散いたしました。(記・木下)

令和四年度 日本武道協議会少年少女武道優良団体表彰

仲池合気道同好会

会長 嶺岸 正樹



このたび、第四十四回全日本少年少女武道錬成大会に於いて、令和四年度日本武道協議会少年少女武道優良団体賞を表彰され光栄に思い大変ありがたく、心から御礼申し上げます。これもひとえに、各関係の諸先生方・諸先輩方の力添えによるものと深く感謝致しております。また、当道場の会員の皆さん、ご父兄の方々のご支援ご協力があったからこそその表彰と考えております。仲池合気道同好会は、地域社会のみなさんに支えられて設立二十周年を迎えております。この様な節目の年に武道優良団体賞の表彰を頂くことにも感慨深いものがあります。稽古の指導方針は、怪我をしない、させない、基本を中心に、明るく、楽しく、元気よく、をモットーに稽古しています。

少年部クラスは、『礼に始まり、礼に終わる』という礼儀の大切さを教えつつ、誰とでも挨拶の出来る子に、基本技を中心に楽しく稽古しています。

大人クラスは、ただ稽古をするのではなく、相手との関わり、気づき、感謝とお互い尊敬し合いながらも、厳しく、楽しく稽古しています。

毎年の全日本少年少女合気道錬成大会・全日本合気道演武大会・東京都合気道連盟演武大会・大田区合気道連盟演武大会・には毎年参加させて頂いております。

コロナ禍の中で、益々、人と人のお互い尊重しあい、感謝し、優しさをもって生きる社会にしたいと願う稽古したいと思えます。

今回の表彰を励みとし、会員一同、力を合わせて稽古し、合気道普及の一層の精進と努力をしたいと思えます。



合気道新川塾

代表 田端 泰

この度は令和四年度「日本武道協議会少年少女武道優良団体」に表彰頂きましたこと、誠に光栄に思います。

合気道新川塾は、合気道を通じて地域における青少年の健全育成に貢献したい、と四十五年間活動をしてきた春清寺合気道場の住職兼道場長の石坂重剛師範の遺志を継ぎ、二〇一一年三月より新設した道場です。多くの方のご協力を頂いて自前道場を設けることができ、コロナ禍にあつても、子どもたちの健全育成の場を維持すべく、地域の小中学校に合わせて対策工夫を凝らし、新しい稽古様式にて稽古を継続することができています。

昨年、合気道本部道場の金沢師範をお招きしての十周年記念行事を開催することができました。また本年度からは、地域に根差した合気道場の活動の要である、市内の小中学校への出張合気道体験教室(放課後児童健全育成事業や、市民対象の親子合気道講習会も再開しました。そのかいあつてか、ここ半年で会員数が増えて、現在は四歳から七十年代までの百六十余名が日々の稽古に励んでおります。さらに来年度からは、再び「日本の伝統・文化理解教育」のための学校教育の場



において、子どもたちに合気道の素晴らしさを伝えられることを楽しみにしております。

うした地域に根差した活動を通じて、合気道の普及に努めつつ、若手指導員の育成を支援していくことにより、さらに実り多い合気道を歩みたいと思う次第です。最近、かつて子どもであった会員が、社会人となり稽古に戻ってきて、子どもクラスや地域の合気道体験会の指導・サポートをしています。また先日開催した三鷹市合気道連盟の演武会にて、若手指導員が子どもたちを指導している姿を見て、着実に想いをつないでいくことが出来ていると感じ、嬉しく思いました。

今後も、たゆまぬ努力と和合の心を大事に稽古を積み重ね、より多くの人に合気道の素晴らしさをつないでいけるよう精進してまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。



加 盟 団 体 紹 介

調布合気道会

会 長 石原 忠男

当会は合気会合気道を調布市で普及啓発することを志し、「人に好かれ社会に役立つ合気道」を目標に、故大谷一枝先生により一九七六年(昭和五十一年)に創設されました。現在もその意志を継ぎ、市内十カ所の道場において約百三十五名の会員が日々稽古に励んでおります。

ここ数年はコロナ禍の影響で活動を休止せざるを得ない時期もございましたが、調布市体育協会をはじめ稽古場所である小中学校や児童館など調布市の関係者のご協力並びに合気会本部道場の十月から感染拡大防止

対策を講じながら段階的に活動を再開して参りました。

二〇二三年は特に、本部道場でのコロナ禍における昇級・昇段審査の方法や全日本合気道演武大会での感染拡大防止対策を参考にさせて頂き、当会の昇級・昇段審査や例年行ってきた演武大会も三年ぶりに無事開催することができました。関係者の皆様には

この場をお借りしてあらためてお礼を申し上げます。

まだまだコロナ感染の収束が見通せない状況

朋清会等々力道場

代 表 清水 康夫

朋清会等々力道場では、清水康夫師範の指導のもと、基本技を中心に稽古に励んでいます。コロナ禍につき、時間短縮での稽古が続けておりましたが、本年十二月より稽古時間をもとに戻しました。依然として感染防止には注意を払いながらの稽古ですが、病は氣からとも言います。日々の鍛錬により、病気に負けない身体づくりを目指しています。

道場での稽古に加えて、年中行事も行っています。二月には新年会と鏡開き、五月には合宿と全日本演武大会、七月には少年少女錬成大会、そして十二月には納会を開催しています。これらの行事を通じて、会員同士の交流も盛んです。とくに合宿は3年ぶりの開催となりました。

また等々力道場は、設立から本年で55周年を迎えました。情勢もあり、大人数を集めての演武会を開催することは叶いませんでしたが、植芝守央道主より記念のお言葉を賜りました。そして会員の皆さんの演武を動画におさめ、小規模ながら開催した祝賀会にて公開しました。

現在も厳しい状況ではありますが、道場での稽古を続けているのは、道主をはじめ清水師範、そして会員の皆さんの温かいご支援



当会石原会長の演武
(受け石田三段)



演武大会参加者集合写真
(子供クラス)



演武大会参加者集合写真
(一般クラス)

があつてこそです。今後も感謝の気持ちを忘



れず、稽古に励んでいく所存です。

江東区合気会

会長 小林 正明

江東区合気会は、昭和四十八年四月十六日
同じ大学の合気道部OB七名により江東区
に発足しました。

発足当時は、区内には他の合気道団体は
皆無であり、稽古ができる区の施設もあり
ませんでした。

そこで民営の勤労青少年センターを借り
て週一回稽古を開始しました。指導には、大
学の時から指導を受けた本部道場遠藤征四
郎師範にお願いしました。ここでの稽古を開
始してから少しずつではありますが、会員数

も増えて昭和五十年十月に江東区スポーツ
会館が開館したのを契機に稽古場をこちら
に移しました。そして、昭和六十三年十月深
川スポーツセンターが開館し、こちらも稽古
場として利用することになりました。

昭和五十八年十月三十日創立十周年を記



念して、現植芝守央道主(当時 本部道場長)
をお迎えし、江東区スポーツ会館に於いて演
武大会を開催しました。また、平成四年八月
三十日創立二十周年記念演武大会には、合
気道二代植芝吉祥丸道主をお迎えして深川
スポーツセンターで、平成十五年十月十五日
創立三十周年記念演武大会、平成二十五年
十一月十七日創立四十周年記念演武大会も
同センターで開催いたしました。

昭和五十五年七月には、江東区合気会が
区内の合気道団体を結集し、江東区合気道
連盟を発足させております。

現在、会員数は少年部を含めて七十名程
ですが、新型コロナウイルス感染予防対策に
よりここ三年施設の度々の利用制限により
安定した稽古日が確保できず、会員の減少
が続いております。

今後コロナが収束して、通常の稽古、年間
行事ができるようになることを願い、地域に密
着した合気道を普及させ、会員の増加に取
り組んでいきたいと思ひます。

下町同好合気会

代表 斉藤 正美

下町同好合気会は基本技を中心に稽古
しております。又、少人数と言う事も有り、
和気あいあいと楽しく又、時に厳しく稽古し
ております。

稽古は月島、錦糸町を中心に稽古を行つて
おります。

宜しくお願い致します。

懐かしい写真のご紹介

過去の都連主催行事の写真ですが、
いつ頃の写真だか分かりますか？正解
は8頁に！



加盟団体今年の抱負

日本歯科大学OB教職員合気道部

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス蔓延してから道場がある体育館が使用不可となり、令和四年末においても再開されていません。本年は再出発の年となりますよう部員一同祈願しています。

東京都庁合気道部

あけましておめでとうございます。五十九年間「たゆまぬ稽古」と「和気あいあい」をモットーに活動を続けてきました。昨年はコロナの状況を踏まえ段階的に活動を再開しましたが、今年も引き続き部員の安全安心に配慮した「たゆまぬ稽古」を「和気あいあい」と継続したいと思っています。

仲池合気道同好会

今年も基本を大事に切磋琢磨、一生懸命稽古し、会員仲間の親睦と調和と地域の方々への交流をはかっていると思います。

港区合気道宇宙の会

昨年亡くなられた先代会長の意思を継ぎ、二人でも会員を増やして、以前の様な活気の有る明るい会にしたいと考えております。

合気道木下道場

新会員も増えたため、コミュニケーションを良くとり充実した稽古に努めたいと思います。

NHK合気道部

コロナ禍で活動を休止していましたが、創部四十五年を迎えた二〇二三年四月、三年ぶりに活動を再開しました。以前は週に二回の稽古でしたが、現在は週に一度木曜日に放送センター内で十名ほどが稽古し、月に一度、栗林孝典本部師範にご指導を仰いでおります。また月に一度、週末に公共施設で剣

杖や呼吸投げの稽古をして稽古不足を補っております。今後も伝統を絶やさないように一同力を合わせて精進してまいります。

合気道三心会

今年当会の品川道場が開設から五年目を迎えます。地域に根ざした道場を目指して、コロナ禍でもコツコツと稽古してきたことを今後も積み重ねて参ります。

パレストラ合気道クラブ

当会は今年創立三十二年を迎えます。どんな状況でも、当会のモットーである、明るく！たのしく！元氣よく！さわやかに！積極的精神で、稽古に精進して参ります。

合気道泰門会

今年も会員一同、協力をして充実した稽古が行えるよう努力して参ります。

習練館道場

本道場は今年で設立七年目となり、未だコロナの影響がある中、昨年は新たに六名が加わり、感染に気を付けながら相互上達を意識し稽古を続けています。技術面も含め各門弟にとつて兎年にあやかつて飛躍の年となることを願っています。

合気道石心塾町合気会

昨年は合気道石心塾四十五周年の記念行事が開催され、関連道場として演武に参加することができました。今年も引き続きコロナの感染に気をつけながら、健康を第一に、一つの稽古を大切にしていけたらと思います。

荒川合気会

本年、当会は創立六十周年を迎えます。この機に原点に返り、心機一転、和合の精神の下、新たな合気道を志す仲間を増やし、目標

としている百周年に向け、大きく飛躍する年にしたいと思っています。

葛飾合気会

明けましておめでとうございます。本年も、日々の稽古と親睦、対話でまとめた会になるようこの一年も進んで参ります。本年も宜しくお願い申し上げます。

杉並合気会

杉並合気会を創られた加藤弘師範の「気持ちを出す、合わせる、押さない、止まらない」を基本とした多くの教えを忘れることなく、明るく楽しみながら、技の向上を目指し日々の稽古に励みます。

鷹の台合気道同好会

昨年もコロナの影響はありましたが、新会員の入会もあり順調に稽古を継続できました。今年も「稽古は、厳しく楽しく」をモットーに、一人一人の小さな一歩を前に進められるよう地道に稽古を続けます。

新小岩合気会

今年もコロナに負けずに稽古を続け、仲間を増やしていきたいと考えています。

合気道小金井同好会

アフターコロナを見据えて、新規会員獲得に注力してまいります。感染予防に努めつつ、研鑽を怠らないよう、引き続き精進してまいります。

祖師谷合気会

昨年はコロナに始まりコロナに終わりました。そのような中でも、週三回の稽古、暑中稽古、夏合宿と稽古を継続できました。今年も、コロナに負けず頑張ります。

合気道土井道場

今年で創立四十五年目を迎えます。これからも基本を大切に、稽古に励みたいと思

ます。

北千住道場

今年も怪我無く元氣に稽古を行いたいと思います。

あらい道場

二〇二三年も本部道場の基本稽古を大切にしながら出会い、触れ、つながり、離れ、を丁寧に、静かな気持ちで稽古をしていきたいと思っています。そして、新しい出会いも楽しみです。

大塚道場 明道館

合気道を通じて心身を鍛錬し、至誠の人を創出する事を目的に、日々稽古に励んで参ります。

青山会

今年の抱負は、昨年の「考える受け身」に続き、「考える入り身」です。個人差のある受けの反応と変化に、常に対応できる位置取りを考えながら、稽古に励みたいと思います。

中央区合気会

コロナ対策を万全に、開祖の示された「和合の心」「武は愛なり」に従い、信じあう心を大切に、「少年には躰と元氣」「成人には活力と勇氣」「熟年には希望と楽しみ」明るい人間関係、人間力UPを目指し、「心正しからざれば道又正しからず」品格のある中央区合気会を！

合気道臥龍会

感染症対策を継続しつつ、気を練り技を練り、楽しく充実した稽古を重ねてまいります。

稲門合気倶楽部

卯年にあたり、稽古環境がより一層回復し合気道の益々のジャンプの年になりますよう、皆様の発展をお祈りいたします。

年男・年女 今年の抱負

十二歳

パレストラ合気道クラブ 許 晴萱

私が合気道に通って良いなと思ったところは、身近な危険についても考えながら技に取り組むことができるということだと思います。いざとなった時に技を使って自分の身を守ることができると通って良いなと思いました。

合気道土井道場 孫 佳娜

元気に一年を過ごしたい。たくさん学び、たくさん遊び、たくさんの方たちと仲良くなりたい。習いごともしっかりがんばりたい。

合気道土井道場 吉田 理乃

私は今年、中学生になります。中学受験をしようと思っています。塾に通い合気道二すじというわけではありませんが、心身共にきたえようと頑張っています。今年は合気道で学んだ礼儀や強い精神を、中学生生活に活かしていきたいと思っています。

合気道土井道場 芝塚 昂太

昨年は合気道を始めたばかりで慣れるのに精一杯でした。でも僕は、練習の時間がとても楽しいです。今年は慣れるだけでなく、新しい技なども覚えて昇級審査に向けて頑張りたいです。

合気道土井道場 丸山 晴輝

小学校最後の一年、コロナでいろいろな制限があるけど、勉強、遊び、合気道、何事も全力で取り組みたいです。

荒川合気会 岩田 悠希

僕の今年の抱負は、合気道四級に合格することです。そのために感染対策をしっかりし

て、病気やケガに気をつけます。そして、先生が教えてくれたことを素直に聞いて、稽古をがんばりたいとおもいます。



祖師谷合気会 渡辺 善

新年度は、野球との両立がさらに大変になるが、一つ一つの稽古を大事にしていきたい。

祖師谷合気会 熊本 睦己

技をしっかりきめられるようになって早く初段になりたい。

北千住道場 堀越 結衣

なるべく休まずたくさん技を行いたいと思っています。

北千住道場 堀越 真衣

知らない技を覚えて、たくさん分かる様になりたいと思っています。

大塚道場明道館 小島 迪佳

私は、今年中学生になるので、部活や勉強を頑張ります。受験で第一志望の学校に受かって、楽しい学校生活を送りたいです。あと、合気道では一般部になります。きちんと稽古についていて、袴をはけるよう頑張ります。



二十四歳

合気道土井道場 米重 勇斗

合気道を始めて十七年目に入り、日々楽しく稽古をしております。また、有段者としての自覚を持ち、鍛錬を積み重ね頑張っています。

ます。今後も合気道を続け、技を極められるよう日々精進して参りたいと思います。

合気道木下道場 清水 康貴

基本的な部分から堅実に学び、また学べる環境、周囲の人への感謝の気持ちを忘れない。

三十六歳

合気道木下道場 菊池 茉里

心身ともにうさぎのように大きく飛躍！多くの方と合気道の楽しさを分かち合えるよう積極的に行動する。これまでお世話になった先生や仲間たちに心を込めて恩返しする。

鄭 佳芬(ティカファン)

合気道を始めて六年になる。とにかく、稽古に足を運んだ。仕事が忙しくても、自分に頑張れ！と言い聞かせて。今年は卯年。今までの稽古に自信を持って、びよんびよん！と跳ねて、飛躍の年にしていきたい。

四十八歳

荒川合気会岩田由巳



私の今年の抱負は、初心に帰り、ひとつひとつの技を大きくゆつくり動きながら、丁寧に見直していくことです。相手と気を合わせ、楽しく稽古をしていきたいと思っています。

杉並合気会 牧野健二郎

明けぬコロナ禍のもと、健康を第一に怪我に気をつけて稽古していきたいと思っています。

祖師谷合気会 阿部 健司

長い中断の期間を経て三年前に久しぶりに再開した合気道。四十八歳の身体と相談

しながら頑張ります。

北千住道場 堀越 祐嗣

気を引き締めて日々の稽古を大切にしていきたいと思っています。

六十歳

合気道臥龍会道場 宮本 賢治

健康第一、早寝早起き毎日稽古。先輩はじめ世界中の老若男女から様々な学び活かす。基本を大切に、自身が進化し、万有愛護の心を以て自然体で生きたい。

稲門合気倶楽部 鳥山 徳雄

今年も稽古に励みます

七十二歳

仲池合気道同好会 会長 嶺岸 正樹

この前還暦を過ぎたと思ったら、もう、七十二歳、六回目の年男になりました。合気道を初めて五十二年も過ぎました。何を求めて稽古し、鍛錬をして、何を後世に伝達して行けるのか？まだまだ未熟です。まだ先に何かあると思いつく合気道を続けて稽古し何かが見つかるとまで精進していきたいと思っています。

祖師谷合気会 芹澤 洋子

我々が祖師谷合気会には九十歳近くまで現役で稽古を続けられた大先輩がおられました。私も先輩を見習い、先生方のご指導のもと、生涯現役で老若男女の会員の皆さんと一期一会の気持ちで合気道の稽古を続けたいです。

中野区合気道会 松本 肇

「若い人にはまだまだ」など頑張らないで、次世代へ期待をしつつ、稽古にあつては、いつでも「微笑んでいられる稽古人」でありたいと思っています。

東京都合気道連盟役員選任要領の検討について

東京都合気道連盟（以下、「都連」）は昭和五十九年（一九八四年）十一月の発足から三十八年を経て、加盟団体数が当初の三十九団体から一七〇団体を超える規模の連盟組織へと大きく成長しました。

都連役員の選任は、都連規約第九条三項において、「理事および監事は、評議員会が選任する。」こととされています。

これまで都連では、役員の選任に際し、加盟団体等からの推薦により役員候補者を立て評議員会に諮ってきましたが、実態としては、評議員会にて「執行部二任」の合意を得た上で正副理事長会が全ての次期役員候補者を決定するという進め方でした。

このような中、令和四年四月九日（土）に行われた第三十八回評議員会での役員選任に関する意見交換を踏まえ、これまでの選任方法やその評価等、実務的な課題等を整理するための都連役員選任要領検討委員会（以下、「検討委員会」）を同年七月、理事長の下に設置し、検討を進めていくことになりました。

次期役員選任要領を検討するにあたっては、各加盟団体から広くご意見を募り、それを検討の参考とするため、同年七月に「東京都合気道連盟役員選任要領に関する」提案

のお願い」を各加盟団体に発出したところ、二件のご提案を頂きました。



次期役員改選を見据え、加盟団体全体から都連の運営に適した人材を役員として広く募るという観点で、検討委員会は具体的な課題等を整理・検討し、理事会に諮ります。

都連役員選任要領検討委員会

東京都合気道連盟理事

大橋 健司（委員長）

板橋区合気道連盟理事長

野瀬 輝男

東京都合気道連盟副理事長

神谷 正一

東京都合気道連盟理事

美濃部 智子

東京都合気道連盟理事

安藤 哲郎

東京都合気道連盟理事

井阪 有一

文部科学大臣表彰

令和四年十月十四日 全日本合気道連盟理事長 東京都合気道連盟顧問 尾崎 响師範が文部科学大臣より「令和五年度生涯スポーツ功労者」として表彰されました。

心よりお祝い申し上げます。

5頁、懐かしい写真の正解は！

第1回東京都演武大会の写真です。
昭和六十三年二月十一日に中央区立総合体育館で開催されました。

訃報

鍛守道場 道場主

鍛守 和徳氏

令和四年八月二十三日永眠
享年七十三歳

長年に渡り東京都合気道連盟の活動にご尽力、ご協力をいたしておりました。ご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。



令和四年度地域社会合気道指導者研修会のお知らせ

左記の通り令和四年度地域社会合気道指導者研修会開催を予定しております。是非ご参加ください。

【日時】令和五年三月四日(土)・五日(日)

【会場】東京武道館 第一武道場

本部道場指導部師範 大澤勇人
本部道場指導部指導員 有馬隼人

【地元講師】

東京都合気道連盟理事長 藤城清次郎
東京都合気道連盟副理事長 木下悦子

【趣旨】東京都の武道の普及と振興のため、今後の合気道指導を担う合気道の指導者に対して、正しい形の技術の修得や指導法を研鑽し、資質の向上に寄与する。

【主催】(公財)日本武道館／(公財)東京都スポーツ文化事業団東京武道館／(公財)合気会／全国都道府県立武道館協議会

【後援】日本武道協議会／東京武道館武道協議会

【主管】東京都合気道連盟

【参加対象者】合気道初段以上の指導者

【受講料】無料(この研修会は国庫補助対象事業です)

【申込方法、詳細】つきましては二月月上旬にご案内を予定しております。

※写真は前回、令和三年度の研修会の様子です。



主要行事予定

東京都合気道連盟主催行事

・令和四年度少年部指導法講習会

◇期日…令和五年二月二十六日(日)

◇講師…小山雄二 本部道場指導部師範

◇場所…港区スポーツセンター

・第三十九回評議員会

◇期日…令和五年四月二十二日(土)

◇場所…日本教育会館

・令和五年度東京都合気道錬成大会

◇期日…令和五年六月十八日(日)

◇場所…東京武道館

・令和五年度東京都合気道連盟演武大会

◇期日…令和五年十一月二十三日(木祝)

◇場所…東京武道館

(公財)合気会主催行事

・第六十回 全日本合気道演武大会

◇期日…令和五年五月二十七日(土)

◇場所…日本武道館

(公財)日本武道館主催行事

・令和四年度地域社会合気道指導者研修会

◇期日…令和五年三月四日(土)・五日(日)

◇場所…東京武道館

・令和五年度全日本少年少女合気道錬成大会

◇期日…令和五年七月十七日(月・祝)

◇場所…日本武道館

東京武道館主催行事

・令和四年度第五回広域合同稽古

◇期日…令和五年一月十二日(木)

◇講師…鈴木俊雄 本部道場指導部師範

◇場所…東京武道館

・令和四年度第六回広域合同稽古

◇期日…令和五年三月九日(木)

◇講師…日野皓正 本部道場指導部師範

◇場所…東京武道館

編集後記

皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は円安や生活必需品の値上げ、海外情勢など様々な変化があり、また文科省の発表に準じマスクを外して稽古する姿も多く見受けられるようになりました。

東京都合気道連盟広報第一号は、平成十五年五月三十一日に発行され、今年で二十年の節目を迎えます。これからも加盟団体間の情報交換の場となり、会員相互の連帯を強め、当連盟の活動の更なる充実と発展の端緒となるよう、先達からの想いを引継ぎ励んで参ります。

広報誌についてのご意見、ご感想、寄稿などお待ちしております。

(記・美濃部)

東京都合気道連盟

〒162-0056 東京都新宿区若松町17 番18 号 (公財) 合気会内

電 話 03-6457-3315

F A X 03-6457-3317

E-mail: info@tokyo-aikido.com

<https://www.tokyo-aikido.com/>